

スコアシート

配慮項目

環境配慮設計の概要記入欄

建物全体・共用部分

評価点

重み係数

評価点

重み係数

住居・宿泊部分

評価点

重み係数

全体

0 建築物の環境品質・性能

0-1 室内環境

1 音環境

1.1 騒音

- 1 暗騒音レベル
- 2 設備騒音対策

1.2 遮音

- 1 開口部遮音性能
- 2 界壁遮音性能
- 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)
- 4 界床遮音性能(重量衝撃源)

1.3 吸音

2 温熱環境

2.1 室温制御

- 1 室温設定
- 2 負荷変動・追従制御性
- 3 外皮性能
- 4 ゾーン別制御性
- 5 温度・湿度制御
- 6 個別制御
- 7 時間外空調
- 8 監視システム

2.2 湿度制御

2.3 空調方式

3 光・視環境

3.1 昼光利用

- 1 昼光率
- 2 方位別開口
- 3 昼光利用設備

3.2 グレア対策

- 1 照明器具のグレア
- 2 昼光制御

3.3 照度

- 1 設計照度
- 2 照度均斉度

3.4 照明制御

4 空気質環境

4.1 発生源対策

- 1 化学物質汚染
- 2 鉱物繊維対策
- 3 ダニ・カビ等
- 4 レジオネラ対策

4.2 換気

- 1 換気量
- 2 自然換気性能
- 3 取り入れ外気への配慮
- 4 給気・排気ダクト計画

4.3 運用管理

- 1 CO₂の監視
- 2 喫煙の制御

Q-2 サービス性能

1 機能性

1.1 機能性・使いやすさ

- 1 広さ・収納性
- 2 情報設備への建築・設備的対応
- 3 バリアフリー計画

1.2 心理性・快適性

- 1 広さ感・景観
- 2 リフレッシュスペース
- 3 内装計画

2 耐用性・信頼性

2.1 耐震・免震

- 1 耐震性
- 2 免震・制振性能

2.2 部品・部材の耐用年数

- 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔
- 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
- 3 配管・配線材の更新必要間隔
- 4 主要設備機器の更新必要間隔

2.3 信頼性

- 1 空調・換気設備
- 2 給排水・衛生設備
- 3 電気設備
- 4 機械・配管支持方法
- 5 通信・情報設備

各機械・配管等は基礎等をもうけきっちり固定している

建物全体
解説シート
の採点結果住居・宿泊
解説シート
の採点結果3.0
-3.0
-3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
2.03.0
3.0
3.0
3.0
4.0
2.03.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.03.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.03.0
3.03.0
1.0
3.03.0
3.03.0
3.02.0
3.0
3.03.0
3.0
3.04.0
3.0
3.0
3.04.0
3.0
3.0
3.04.0
3.0
3.0
3.04.0
4.0
3.0
3.01.0
1.03.0
1.0
1.03.0
-
-3.0
3.0
3.03.0
3.0
3.03.0
3.02.0
3.0
3.0
3.03.0
3.0
3.0
3.0
3.0

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり		3.0	0.29	2.7	-	2.8
	1	階高のゆとり	1.8	0.03	2.4	0.50	
	2	空間の形状・自由さ	1.0	0.60	2.0	0.60	
			3.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.03	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.95	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				0.30			2.1
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-			2.8
LR-1 エネルギー				0.40			2.6
1 建物の熱負荷抑制		2.0	0.39	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化		3.0	0.39	-	-	3.0	
4 効率的運用		3.0	0.02	-	-	3.0	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
LR-2 資源・マテリアル				0.30			3.4
1 水資源保護		3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 節水		3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム		3.0	0.67	-	-		
2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材		3.4	0.85	-	-	3.4	
2.1 資源の再利用効率		3.7	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率		4.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率		3.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04	-	-		
2.3 健康被害のおそれが少ない材料		3.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性		4.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避		3.0	0.18	-	-		
1 消火剤		4.0	0.33	-	-		
2 断熱材		2.0	0.33	-	-		
3 冷媒		3.0	0.33	-	-		
LR-3 敷地外環境				0.30			2.6
1 大気汚染防止		オール電化	5.0	0.10	-	-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音・振動			3.0	0.50	-	-	
2.2 悪臭			3.0	0.50	-	-	
3 風害、日照障害の抑制			1.0	0.15	-	-	1.0
4 光害の抑制			3.0	0.10	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.24	-	-	3.0

1.0	2.0
3.0	3.0
3.0	3.0

3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0

1.0
3.0

2.0
2.0

2.1

3.0
3.0
1.0

3.0
3.0

3.0

3.0
対象外

4.0
3.0
3.0
3.0
3.0
4.0

4.0
2.0
3.0

3.0

3.0
3.0
1.0
3.0
2.0
3.0

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	事務所	物販店	-	面積按分 総合スコア
		2360 m ²	155 m ²	70 m ²	-	
1	建築物の熱負荷抑制	2.0	3.0	3.0	-	2.1
3	設備システムのERRによる評価	-	-	-	-	1.0
	高効率化 個別設備による評価	-	1.0	1.0	-	
3.1	空調設備	-	1.0	1.0	-	-
3.2	換気設備	-	1.0	1.0	-	-
3.3	照明設備	-	1.0	1.0	-	-
3.4	給湯設備	㊄ ㊄ 値未入力	㊄ ㊄ 値未入力	㊄ ㊄ 値未入力	-	-
3.5	昇降機設備	-	㊄ ㊄ 値未入力	-	-	-